



育てよう！ みんなで創立100周年に相應しい同窓会

同窓会長 福島昭子 (S26卒)

同窓会長の福島でございます。
日頃は同窓会運営に深いご理解とご協力を頂き
心より感謝申し上げます。

ここに同窓会報第3号が発刊される運びとなりました。
この会報が同窓生の絆を結び同窓会の充
実の一助につながりますことを心より願っていま
す。

我が母校美須々ヶ丘高校は平成21年に創立100周
年を迎えます。

テーマは多くの応募作品の中からの選定により
「百年の足跡・無限の未来へ」大宙へ：双蝶」と
決まり、平成21年10月10日の記念事業の成功に
向け山元実行委員長を核に6つの担当委員会の皆
様が心を一つにして様々な準備に取り組んでいま
す。会員の皆様にも実りある記念事業になります
ようご理解と物心両面のご協力をよろしく願ひ
致します。同窓会本会として各同期学年の会
員相互の絆と結束を育んで頂き組織の強化につな
げ100周年の歴史と伝統に相應しい同窓会の充実を
図り記念事業を成功に導かなければと考えていま
す。

しかし現状は同窓会の事務を司る場所も未だに
なく事務局は美須々ヶ丘高校に在職の同窓の先生
方に全面的にご負担をお掛けしている現状です。
ご理解ある学校当局に心から感謝申し上げます。共
にこれらの課題を先ず解決しながら「大器晩成型」
の同窓会として100周年を契機に自立をしなければ

と痛切に考える日々でございます。

昨年度から同窓会の本会の財政強化を図るため
年会費2,000円をお願い致しましたところ多
くの会員の方よりご納入頂きありがとうございました。
お陰様で定期的な会報の郵送料に充当す
ることが出来ました。またホームページも先生方
のご協力により開設されていますので活用下さ
い。どうぞ今後とも財源確保にご協力頂き自立し
た運営が出来ますよう一人でも多くの会員の皆様
方の会費納入のご協力を切にお願い致します。

また同窓会長が理事長の「美須々ヶ丘セミナー」
も昨年2年目を迎え、「松本元気の出る町会福
祉」高校生が見た福祉の町づくり」をテーマに放
送部の学生が地域に入りビデオを作成し学力の向
上と併せて生徒の社会性の涵養、人生観の深化等
を目的に開催し好評を得ました。

在校生も吹奏楽部を始めサッカー部など多くの
後輩が母校に錦を飾ってくれ伝統に更なる輝きを
増して頂き母校の誇りとして感謝とエールを贈ら
せて頂きます。

次世代を担う在校生が誇り頼れる同窓会を目指
し皆様と共に精一杯努めさせて頂きますのでご指
導ご協力を重ねてお願い申し上げます。

最後に創立100周年記念事業の成功と母校松本美
須々ヶ丘高校の益々のご発展をご祈念申し上げます。
挨拶と致します。

第3号

2007.8.10

発行
長野県松本美須々ヶ丘高等学校同窓会
〒390-8602
長野県松本市美須々2-1

印刷
SALAT (株)サラト
Salat Corporation

私たちの同窓生

会員数
30,739人

在校生
853人
(男398、女455)

平成19年4月6日現在

前身学校

長野県市立松本女子職業学校
長野県松本高等家政女学校
長野県松本市立高等女学校
長野県松本市立中学校
長野県松本市立女子商業学校
長野県松本市立高等学校



輪廻という時間

校長 橋詰 治明

福島同窓会長様をはじめ、同窓会会員の皆様には、母

校の教育振興と在校生の激励のために、平素から物心
にわたる格段のご後援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度は、全国的な問題となった未履修問題に本校
も関係し、多大なご心配をお掛けしました。心よりお詫
び申し上げる所です。その中であつて、在校生諸君
はクラブ活動や学習面において、それぞれ持ち味を発
揮したと評価しております。JFAプリンスリーグに
おけるサッカー部の活躍や、伝統ある吹奏楽部の活動
は多くの皆さんから高い評価をいただいております。

また進路面に於いても最後まで自分の志を貫き希望の
大学に合格を果たした生徒も昨年より多く活気ある美
須々ヶ丘高校でした。これも陰日向に母校を支えてい
ただいた同窓会の皆様方のお陰と感謝申し上げます。

さて、本校は創立以来今年で九十八年という長い時
間をかけたその歴史を刻んできました。時間は西洋では
「進む時間」というとらえ方をします。出発点を天地
創造とし、一方向へ時間が流れると考えます。一方
仏教文化圏である日本人は、時間は西洋のそれとは異
なり「輪廻」というとらえ方をします。この思想は特
にチベット仏教に色濃く残り、今の「生」は過去を受
け継いだものであり、自分という存在は二とありある
とします。つまりその一つは「魂の自分」であり、他
は「肉体の自分」ということになります。中心的な存
在である「魂の自分」は過去の意識や魂が胎内に入り、
肉体に宿って生まれてくると考えます。すなわち個人
は「魂」という形で永遠に生きて続けているという考

え方です。

学校に例えればどのようなことになるのでしょうか。
本校は今日の美須々ヶ丘に至るまでにそれぞれ異なった歴
史的な背景を持つ市内六つの学校が一つになり創立さ
れた高等学校です。従ってその経緯の中で全ての学校
名が「美須々ヶ丘」という一つの名称に統一されていま
す。立地も変わり施設も時代と共に変わってきました。
しかし、今日まで続くいわゆる「みすずの魂」は三万人
に及ぶ卒業生の皆さんに、時代や空間と共に輪廻しな
がら生き続けているのだらうと思っております。そして
その「魂」の具現化されたものがまさに同窓会という組
織であると思えます。松本美須々ヶ丘高等学校という
存在の一つはみすずの「魂」であり、それが現在の「美
須々ヶ丘高校同窓会である」ということと思えます。

同窓会は学校教育活動の大切な後援組織です。在校
生の精神的支柱の一つであり、そこから無言の感化を
受けるものです。なお更に母校にこころを寄せていた
だきますよう心からお願ひ申し上げます。そして、是
非学校に足をお運びいただき、今の美須々ヶ丘高校を
ご覧いただきたいと思ひます。

二年後に創立100周年を迎えることになります。実行
委員長山元様をはじめ、関係する同窓会の皆様のご労
苦に心から敬意を表します。また、美須々ヶ丘の縁のある
方々の下、100周年が本校同窓会にとって良い記念の年
になることを願ひいたします。

終わりに、松本美須々ヶ丘高等学校同窓会の益々の
ご発展を祈念して、ご挨拶といたします。

各委員長だより

総務委員会

伊藤篤實 (S43卒)

山元実行委員長の下で総務委員長を仰せつかっております、伊藤篤實(昭和四十三年卒)と申します。

総務委員会では、百周年記念事業の中で、主に当日の式典とそれに係わる事柄を中心に活動しております。

現在まで、六回の委員会を開催して、いかに心に残る百周年記念式典ができるか、委員会で話し合いを重ねてまいりました。当日の式典会場は「長野県松本文化会館」と決定し、今後は式典の様式、記念公演、祝賀パーティー等の準備に取りかかろうとしております。本年度中には全体の概要を固め、皆様にお知らせできるように頑張っていきたいと思っております。

又、もうひとつの柱となる事業として、母校の創立百周年であることを、限りなく連絡の取れる会員の皆様にお知らせし、この慶びを皆様と共有したいと考え、ささやかな記念品をお届けしようと考えております。

母校の創立百周年をステップに、母校と共に会員皆様、益々飛躍し、発展される一助になればとの思いで、有意義な記念事業ができるように、精一杯努力して行きますので、皆様のご支援、ご協力の程、宜しく申し上げます。

2 記念誌委員会「宝探し」にご協力を!

山本範行 (S46卒)

当委員会では、昨年六月以来検討を重ねて参りましたが、漸く骨子がまとまり現在それを基に作業を進めている最中です。

私共がこの記念誌作成に当たって最も力を注ぎたいと考えていることは、「卒業生の為の記念誌」という視点到留まらず、「これからの在校生の為に」という視点を強調することです。

例えば、記念誌を読んだ在校生が、百年の間に培われた「宝」の数々を再認識することで、「俺たちの学校って美須々ってすごいんだな」と感じてくれればそれで役割の半分は果たせるような気がします。

従って、今後の委員会活動では、前身校を含め「宝」のピックアップとクローズアップを急ぎながら、皆様にとって興味深く、また為になる記念誌となるよう頑張る所存です。とはいえ、この「宝探し」も私共の力では限りがあります。同窓会の皆様の貴重な体験や写真、部活動等の記念すべき出来事、大切にしまっている当時の品々、恩師や友人との思い出・エピソード。これらはすべて大切な「宝」です。是非私共にご紹介、ご一報ください。

又、今後年代別座談会の開催、原稿・取材依頼等でも皆様方のご協力をお願いすることがあります。何卒ご協力頂きますよう切にお願い申し上げ、ご報告に替えさせていただきます。



創立百周年記念事業実行委員会

委員長 山元秀泰 (S47卒)

同窓会の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍の事とご推察申し上げます。

百周年記念実行委員会も設立以来一年半余が経過いたしました。この間、大勢の皆様から沢山の励ましのお言葉を頂戴したり、「まだ計画ができないか?」などのご心配も多くお寄せいただきました。また、委員会の進捗状況や事業内容に関しても前向きなご意見や叱咤激励をい

いただきました。一人でも多くの同窓生がこの百周年事業を通し、自らの人生や母校への関わりを今一度振り返っていただきたいと思っている私達にとって、何よりの嬉しいご助言でした。実行委員会は、三役会・委員長会・各委員会など回を重ね、同窓会総会に先立っての実行委員会役員総会で、記念事業の第一次原案をご承認いただき、同窓会総会にもご報告しご理解をいただきました。この間実行委員の皆様には、大変ご苦勞いただき休日返上または夜遅くまで何度もご協議いただきました。この紙面をお借りし改めて御礼申し上げます。記念事業計画につきましては、別表をご覧ください。思いますが、記念式典日を平成21年10月10日、場所を県松本文化会館とする事で、ご決定いただきました。そして、百周年のスローガンを生徒や同窓生の皆さんから募集しその結果3年生の作である「百年の足跡・無限の未来へ」大宙へ「双蝶」との決定をいただきました。「ミズズらしく」「100年の3万人の想いを」そして

「これからのミズズとは」などを基本にご協議いただきました。また、100周年を機に「美須々教育会館(仮称)」の建設に向け取り組み、その基金となる予算を盛り込ませていただきました。いずれにせよ、記念式典までの過程で、同窓会諸氏や関係諸氏の更なるご指導やご協力としてご寄付などありませんとこの計画は実行に移せません。詳細につきましては、実行委員会や各委員会より書面等をおもちましてご案内申し上げますので、ご理解をいただき何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。最後に、実行委員になつていただけの方またはご協力いただける方は、ぜひ事務局までご連絡ください。お願いいたします。お待ちしております。

5 財務委員会

財務委員長 上條信太郎 (S44卒)

長野県松本美須々ヶ丘高等学校の創立百周年記念事業にあたり財務委員長として、一言ご挨拶申し上げます。

2年後に迫った創立百周年の大事業は多くの人々の参加をいただき、記念事業として強く心に残る事業として、又、充実した教育環境整備のために計画が進められております。計画の実現のためには財政の充実は何にも優先する事項であり、委員会として努力しております。各委員会より計画された事業を円滑に進めるためにも、各事業に対するご理解をいただきながら、財源の確保を図るため多くの皆様の募金への協力をお願い致します。財務委員長としてこの責務が充分にはたせるように努めてまいります。

今後とも多くの皆様のご支援をお願い申し上げます。

6 ビジョン委員会

伊藤亮二 (S52卒)

松本美須々ヶ丘高校は、明治42年松本女子職業学校の開校以来、松本高等家政女学校さらに松本市立高等女学校と改称され、また一方松本市立中学校と松本市立女子商業学校が創設され、その後学制改革にて3中等学校は統合され松本市立高等学校として再編され、やがて現在の長野県松本美須々ヶ丘高等学校として現在に至っています。

松本女子職業学校の卒業生から数え、この100年の間で約3万人の同窓生がいますが、今回の百周年記念ではこれらの方々の想いを集約し、みすずっ子同士が一つになるためのアクションを起こし、更にこれからのみすずっ子のために何か後世に残るものを発信したいとビジョン委員会では考えています。

そこで本委員会では、まず在校生やOBの皆様から統一テーマのキャッチコピーを募集し、約300件の応募の中から『「百年の足跡、無限の未来へ」～大宙へ…双蝶～』に決定させて頂きました。この意味は校名変更・統合・移転など幾多の変遷を経てきた美須々の百年の歴史をまとめ(百歳の美須々に感謝)、未来の美須々を語る百周年とし、在校生・同窓生が一体となり地域から世界へと大きく羽ばたいていこうという想いが込められています。今後は更に統一マークの作成や未来に向けての美須々のビジョンを策定する所存です。

3 学校整備委員会

橋本恵次 (S40卒)

昭和40年3月卒業の私は、以来母校の同窓会活動に参加する機会はほとんどありませんでした。今回、縁あって学校創立百周年記念事業実行委員会学校整備委員長を仰せつかった橋本です。百周年の大きな節目の事業として、当委員会としてどのような活動を押し進めるべきか、委員会の皆様と一年半余の間、種々の課題の検討を重ねて参りました。百周年を契機に、母校の歴史を更に飛躍・発展させる為に校内施設の充実、学習環境の改善・整備を重点に置き、1 自習室の整備 2 みすずの森百周年記念公園整備 3 トレーニングルームの建替とトレーニング機器の買替 4 中庭の整備 5 同窓会 PTA 学校職員 生徒の皆様のボランティア活動に依る校内の美化整備を実施 6 県への教育条件整備改善に関する要望書を学校・PTAと協力して提出 以上の事業を手掛けて参る企画を立案致しました。

所用で母校を訪れる機会がある訳ですが、校内には改修の必要な箇所が相当見受けられます。

年代は違っても人生の中で最も輝かしい青春時代を送り人生の礎を築いてくれた我母校の為に微力を尽くす覚悟でございます。どうか皆様方の一層のお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

4 記念催事委員会

委員長 加科 勝 (S32卒)

記念催事委員会は百年を節目として、在校生と同窓生が一体となって百周年を祝い、喜びを分かち合い、さまざまな催事によりこの記念事業を盛り上げていこうと、十回程の会議を持ち検討をしてきました。

はじめは夢を持ち寄り壮大な内容でしたが、現実には立ち返り、予算との兼ね合いの中で、およそ次のような計画となりました。

- (平成19年度) 大人の文化祭2007
- (平成20年度) 大人の文化祭2008
あがたの森サタデーコンサート2008
百周年イベント伊藤多喜雄コンサート
- (平成21年度) 記念式典当日アトラクション
瓜生喬氏による「百年の歴史」

この中から主なものを紹介しますと、「大人の文化祭」は双蝶祭にあわせ同窓生が学生時代に戻ってステージ、展示、フォークダンスなどで楽しむものです。

平成20年度の一年前イベント伊藤多喜雄コンサートは「みすずの心の故郷を日本のうたで」をコンセプトに温故知新を大事にし、本校の新たな発展を願う想いをこめ、日本を代表する民謡歌手、よさこいソーランでおなじみの伊藤多喜雄コンサートを計画しました。

平成21年度の記念式典当日は、瓜生喬氏の脚本、出演による「百年の歴史」を上演、三万余人の同窓生と在校生が美須々の百年の足跡を辿り、次の百年にむけ絆を強めていこうとするものです。

以上が記念催事の内容ですが、多くの方にこの記念事業にかかわっていただき、心に残る百周年にしていきたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしています。

創立100周年 記念事業に向けて



Slogan
スローガン

「百年の足跡、無限の未来へ」

、大宙へ…双蝶、

松本美須々ヶ丘高等学校創立百周年記念事業 予算概算書

収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
基金繰越金	16,884,527	同窓会特別会計より
前年度繰越金	467,421	実行委員会会計より
募 金	80,000,000	
そ の 他	6,000,000	催事チケット収入
計	103,351,948	

支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
総務委員会	16,000,000	記念式典経費・宣伝広告費・祝賀会経費・記念品 他
記念誌委員会	1,500,000	記念誌資料作成編集諸費
学校整備委員会	30,000,000	自習室・みすずの森・中庭の整備・トレーニングルーム新設 他
記念催事委員会	13,000,000	記念式典アトラクション・プレイベント・大人の文化祭関連経費 他
財務委員会	2,500,000	募金活動関連経費
ビジョン委員会	500,000	記念事業スローガン・ロゴマーク選定関連経費
「美須々教育会館」(仮称) 建設準備費	30,000,000	
各委員会運営費	1,500,000	6委員会・名簿部会・予算執行委員会(3年分)
実行委員会運営費	1,500,000	事務費・通信費・会議費 他
生徒会百周年事業	2,000,000	学校生徒会後援
予 備 費	4,851,948	
計	103,351,948	

松本美須々ヶ丘高等学校創立百周年記念誌(仮称)発刊 予算書

収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
記念誌代	10,000,000	5,000円×2,000部
そ の 他	0	
計	10,000,000	

支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
印刷製本費	7,800,000	3,000部
送 料 等	1,000,000	500円×2,000部
パンフレット	100,000	20,000枚
予 備 費	1,100,000	
計	10,000,000	

松本美須々ヶ丘高等学校創立百周年記念事業 計画表

平成19年	6月 17日	第2回役員総会
	7月 下旬	年度別クラス代表者会(募金について)
	7月 14日	大人の文化祭2007(双蝶祭中)
	秋	募金活動開始
平成20年	7月 中旬	大人の文化祭2008(双蝶祭中)
	秋	プレイベント「伊藤多喜男バンドコンサート」
	秋	あがたの森サタデーコンサート2008
平成21年	10月 10日	記念式典・公演・祝賀会(松本文化会館)
平成22年	1月 31日	記念誌発行

創立百周年記念事業の骨子決定

六月十七日四柱神社「神道庵」にて第2回創立百周年記念事業実行委員会役員総会が開催され、各委員会より提案された記念事業計画案が承認されました。それを受け、引き続き開催された本年度同窓会定期総会において事業計画が報告されました(計画と予算の概要は別掲)。総額約1億円に上る事業計画となりますが、事業成功に向け、今後財務委員会の計画に基づき募金活動が始まります。現在実行委員会名簿部会が中心となり、組織強化のため年度別組織作りを進めているところです。今後会員皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



在校生の支援を進める

美須々ヶ丘セミナー

美須々ヶ丘セミナーは、同窓会やPTAが一体となって、在校生の学力向上、職業観や進路意識の醸成、社会性や教養の涵養等を図ることを目的に、平成十七年に設立しました。理事長には同窓会長が、また副理事長にはPTA会長がそれぞれ就任してセミナーの運営にあたり、これまで、外部模擬試験や各種検定試験の実施、先生方の休日補習への支援を行ってきました。また、広く地域の方々を対象に、教養講座として、講演会も開催してきたところです。

講演会は、初年度に作家井出孫六氏を迎えて「信州から明日を考える」をテーマに、私たちが暮らす地域を愛することの大切さをご講演いただきました。昨年度は、その地域づくりに取り組む人たちの活動を取り上げ、「自分たちが参加する福祉の町づくり」をテーマに、信州大学名誉教授玉井袈裟男氏、国立看護大学校教授森山幹夫氏、本校同窓会長で、共助の福祉の町づくりを目指す「愛ぶんぶん」代表の福島昭子氏の鼎談を行いました。本年度は、その地域との連携を進めている本校生徒と同窓会・PTA・地域の人達が共に語り合い交流する会を計画しています。計画が具体化したところで、多くの方々のご参加をあらためてお願いしたいと思います。

けやき
櫟

は覚えていてくれる

栄 勇 詩

美須々ヶ丘の 母校の庭に

一本の櫟の樹がある

五十余年の歳月を その年輪に刻んで

どっしりと生えて 枝を広げている

この樹は かつて ここに

私たちの青春があった 証なのだ

若かった日の 君や 貴女や 私が

ここで学び ここで過ごした

その時が まぎれもなくあった事を

櫟は 静かに語っている

これを植えたのは

今は古希を過ぎている

君や 貴女や 私だった

少年期から 青年期の時代に

君や 貴女や 私は

昼間は 勤務に従事して働き

夜は この学び舎で勉学に励み

ときには 笑い

ときには 悩み

ときには 励ましあつて学んでいた

夜のとばりの中に 灯をともし教室で

雨の降る夜は

窓を打つ 雨の音を聞きながら

風の吹く夜は

窓を走る 風の音を聞きながら

ひたすらに 四年の歳月をここで学んだ

そしてここに 君や 貴女や 私の

ひたむきな 青春があった

やがて 巣立ちの時
母校に植えた 小さな櫟の苗木は
五十余年の歳月を経て
いま どっしりとした
見事な大樹になっている

この櫟の前に佇んでいると
はるかに若かった日の
君や 貴女や 私のことが
すでに亡き恩師や 友のことが
懐かしく思い出される

やがて 私たちもこの世を去り
この学び舎で過ごした
若い日があったことは 消えていくが
櫟の大樹は

君や 貴女や 私が
まぎれもなくここで学び
ひたむきな青春を
ここで送った日の事を

いつまでも 覚えていてくれるだろう



昭和28年松本市立高等学校卒業記念樹

(平成19年4月23日 中条啓夫氏撮影)

2007年度 クラブ活動 長野県総合体育大会成績(県大会以上)

サッカー

1回戦	美須々 VS 屋代	4-1
2回戦	美須々 VS 飯田	1-0
3回戦	美須々 VS 長野俊英	1-0
4回戦	美須々 VS 長野日大	1-2

長野県3位

Soccer

陸上

個人男子400m	7位	
男子リレー4×100m	7位	
男子リレー4×400m	4位	北信越大会へ
個人男子走幅跳	8位	
個人男子三段跳	5位	北信越大会へ

Trac And Field

卓球

男子	ダブルス VS 野沢北	0-3
女子	学校対抗 VS 長野吉田	0-3

Table Tennis

女子ソフトテニス

団体戦1回戦	美須々 VS 東海大三	1-2
--------	-------------	-----

Soft Tennis

男子バスケットボール

1回戦	美須々 VS 上伊那農業	107-67
2回戦	美須々 VS 長野日大	94-88
準々決勝	美須々 VS 上田千曲	66-82

長野県ベスト8

Boy's Basketball

男子ハンドボール

1回戦	美須々 VS 茅野	不戦勝
2回戦	美須々 VS 上田	19-36

Boy's Handball

女子バスケットボール

1回戦	美須々 VS 伊那弥生	58-64
-----	-------------	-------

Girl's Basketball

女子ハンドボール

2回戦	美須々 VS 坂城	20-22
-----	-----------	-------

Girl's Handball

弓道

男子団体	予選敗退
女子団体	決勝トーナメント進出 (県ベスト8)
女子個人	予選敗退

Japanese Archery

松本美須々ヶ丘
長野県総体成績

サッカー部 U-18 プリンスリーグ北信越大会 長野県代表

もう一步、その先へ

顧問 山崎 武

3年前のある春の日に、49年度卒のOBの方が、練習中のグラウンドに顔を出して下さいました。最近のサッカー部の活躍を紙面等で知り、楽しみにしていて下さるそうです。佐久地区開催の県大会にも応援に駆けつけて下さいました。

昨冬に、念願のプリンスリーグ北信越への出場権を手にすることができました。その時に、目に涙をいっぱい溜めながら勝利を喜んでくれたのは、我が子の代には夢叶わなかった親の方々でした。

北信越出場を祝い、同窓生の先生に大変立派な記念看板をつくって頂きました。その素晴らしい書を見るたびに、私そ

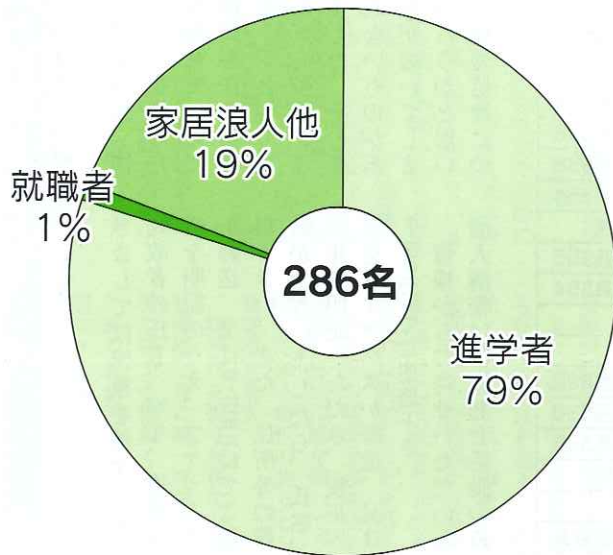
して選手は
勇気とプライ
ドを与えて
もらって
います。

今、多くの同窓生の方々に支えられて活動できていることを実感しています。北信越の舞台で戦わせてもらう中で、勝利するチームになるばかりでなく、応援されるチーム・尊敬される選手を目指すことの大切さを考えはじめています。今後も、サッカー部へのご指導を宜しくお願いいたします。

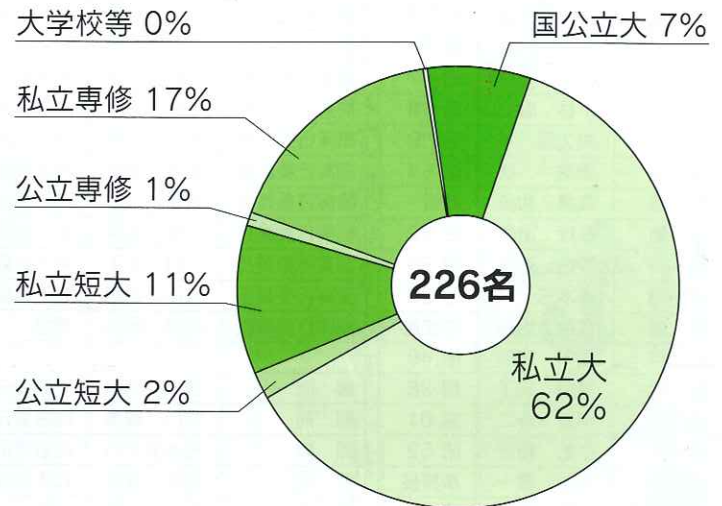


進路状況

平成18年度 卒業生進路状況



平成18年度 進学者内訳



平成18年度 主な大学・短大・専修学校の合格者数 (延べ人数：略称有り)

() 付き数字は過年度卒

国公立大学

信州大学	6	(1)
長野県看護大学	2	
秋田県立大学		(1)
宇都宮大学	1	
福井県立大学	1	
山梨大学	2	(1)
都留文科大学	2	
愛知県立芸術大学	1	
鳥取大学		(1)
島根県立大学	1	
島根大学		(1)
香川大学	1	
琉球大学	1	

私立大学

諏訪東京理科大学	6	
長野大学	4	
松本大学	6	
北海道医療大学	2	
足利工業大学	1	
国際医療福祉大学	2	(1)
上武大学	1	
東京福祉大学	1	
埼玉工業大学		(1)
城西大学		(2)
尚美学園大学	1	
駿河台大学	1	
獨協大学		(1)
文教大学	7	
目白大学	1	
立正大学	4	(1)
千葉科学大学	1	(1)
千葉工業大学	1	(1)
帝京平成大学	3	

亜細亜大学	3	
桜美林大学	4	
神奈川大学		(1)
共立女子大学	1	
杏林大学		(1)
工学院大学		(2)
國學院大学	1	(1)
国士舘大学		(1)
駒澤大学	4	
実践女子大学	1	
芝浦工業大学	1	
白梅学園大学	1	
専修大学	3	(5)
大東文化大学	4	(3)
拓殖大学	1	
玉川大学	1	(1)
中央大学		(1)
帝京大学	5	
東海大学	8	
東京家政大学	1	
東京家政学院大学		(1)
東京経済大学	3	
東京電機大学	3	
東京農業大学	2	(1)
東洋大学	4	
日本大学	3	(4)
日本体育大学	1	
文化女子大学	1	
法政大学		(1)
武蔵大学	1	
武蔵工業大学	2	
武蔵野音楽大学	2	
明治学院大学	1	
明星大学	1	
麻布大学	1	
神奈川工科大学	4	(4)

神奈川大学	3	
鎌倉女子大学	1	(1)
国際医療福祉大学	1	
昭和音楽大学	1	
女子美術大学	1	
新潟薬科大学	2	(2)
金沢工業大学	1	(4)
北陸大学	2	
健康科学大学	3	(1)
帝京科学大学	1	
山梨英和大学	2	
山梨学院大学	2	
中部学院大学	1	(1)
聖隷クリストファー大学		(1)
愛知大学	2	
愛知学院大学	6	
愛知学泉大学		(1)
星城大学		(1)
中京大学		(1)
中部大学	2	
名古屋外国語大学	2	
名古屋学芸大学	1	
名古屋経済大学	1	
名古屋芸術大学	2	
名古屋女子大学	1	
名古屋文理大学		(1)
日本福祉大学	3	
藤田保健衛生大学		(1)
名城大学	2	
皇學館大学		(1)
長浜バイオ大学	1	
大阪成蹊大学	1	
大谷大学		(1)
花園大学	1	
佛教大学	1	
立命館大学	1	

龍谷大学	3	
大阪芸術大学	1	
大阪工業大	1	
摂南大学	1	
奈良大学	1	
近畿大学	3	
岡山理科大学	1	
崇城大学	1	

公立短大

長野県短大	5	
-------	---	--

私立短大

飯田女子短大	2	
上田女子短大	1	
信州豊南短大	1	
清泉女学院短大	1	
松本短大	5	
松本大松商短大部	3	
青山学院女子短大	1	
大妻女子短大	1	
実践女子短大	2	
日本歯科大東京短大	1	
日本体育大女子短大部	1	
立教女学院短大	1	
京都外国語短大	1	(1)

公立専修学校

長野県公衆衛生専門	1	
東京都立南多摩看護専門	1	
八王子市立看護専門	1	
昭和の森看護学校	1	

■ ■ ■ 平成19年度(2007年)役員名簿 ■ ■ ■

同窓会 役員

創立百周年記念事業実行委員会 役員

	氏 名	○年3月卒業
会 長	福島 昭子	昭 26
副会長	大林 好矩	昭 28
副会長	小島 由本	昭 28
副会長	有馬 恭子	昭 38
副会長	荻原 幹雄	昭 38
副会長	奥 薫	昭 38
副会長	山元 秀泰	昭 47
副会長	小林 磨史	昭 48
副会長	矢久保 学	昭 52
副会長	須澤 稔	昭 54
副会長	茶鍋 和統	教頭
顧問	銭坂 明尚	昭 22
顧問	井口 善高	昭 30
顧問	橋本五十八	昭 36
顧問	橋詰 治明	学校長
参 与	黒田 輝彦	昭 48
監 事	鳥羽 紀子	昭 38
監 事	小野 伸二	昭 61
会 計	小松 伸好	昭 52
会 計	丸山 豊一	事務長
常任理事	山田 悦生	昭 42
常任理事	西尾 集雄	昭 42
常任理事	北野 亨	昭 52
理 事	上條 好衣	昭 2
理 事	原 みよ子	昭 22
理 事	新田 克典	昭 34
理 事	浅原 忠子	昭 38
理 事	太田 公孝	昭 38
理 事	三澤 博	昭 39
理 事	三輪 尚弘	昭 41
理 事	伊藤 篤實	昭 43
理 事	上條信太郎	昭 44
理 事	川崎 亨	昭 45
理 事	中村 俊春	昭 46
理 事	味澤 恵美	昭 49
理 事	山崎いづみ	昭 51
理 事	鏡味 照明	昭 53
理 事	高橋 隆夫	昭 54
理 事	木下 尚子	昭 55

事務局

常任理事	工藤 哲夫	昭 52
常任理事	高橋 一郎	昭 58
常任理事	稲場 隆	昭 59
事務局員	齋藤 善治	昭 61
事務局員	齋藤 俊樹	平 2
事務局員	白木 貴仁	平 7
事務局員	滝沢 愛子	

役 職	氏 名	役職・卒年
組織代表	福島 昭子	同窓会長S26
組織代表	大友 孝志	P T A会長S53
組織代表	橋詰 治明	学校長
実行委員長	山元 秀泰	同窓会副会長S47
実行委員長代行	小林 磨史	同窓会副会長S48
副実行委員長	小島 由本	同窓会副会長S28
副実行委員長	大林 好矩	同窓会副会長S28
副実行委員長	奥 薫	同窓会副会長S38
副実行委員長	有馬 恭子	同窓会副会長S38
副実行委員長	須澤 稔	同窓会副会長S54
副実行委員長	上條 秋男	P T A副会長
副実行委員長	三村 光正	P T A副会長S55
副実行委員長	松山 浩明	P T A副会長S54
副実行委員長	茶鍋 和統	教頭
顧問	銭坂 明尚	同窓会元会長S22
顧問	井口 善高	同窓会元会長S30
顧問	橋本五十八	同窓会前会長S36
顧問	黒田 輝彦	松本市議S48
顧問	瓜生 喬	S26
顧問	深澤 盈	安原地区連合会長
顧問	中原 信一	中原町会長
参 与	尾関寿美男	元P T A会長
参 与	樋上 照男	元P T A副会長
参 与	筒井 完次	元P T A会長
参 与	三浦 浩美	元P T A副会長
参 与	瀬川 久幸	前P T A会長S55
参 与	齋藤 光春	前P T A副会長
会 計	鳥羽美根子	S37
会 計	小松 伸好	S52
会 計	丸山 豊一	事務長
監 事	小野 伸二	S61
監 事	藤岡 恵子	P T A
監 事	西沢 義明	学校：事務長補佐
事務局長	荻原 幹雄	同窓会副会長S38
事務局次長	矢久保 学	同窓会副会長S52
事務局次長	工藤 哲夫	学校S52
事務局員	高橋 一郎	学校S58
事務局員	稲場 隆	学校S59
事務局員	齋藤 善治	学校S61
事務局員	齋藤 俊樹	学校H2
事務局員	白木 貴仁	学校H7
事務局員	滝沢 愛子	

事務局よりお願い

昨年会報第2号発行後、物故者につきましてご親族の方から多数情報を寄せていただきました。事務局不在で留守番電話にメッセージとして残していた方も多くご迷惑をお掛けしました。その際正確に聞き取れないものがあり、今回も会報が届いてしまったところもあるかと思ひます。物故者の情報処理につ

きましては慎重を期すため、物故者の氏名、卒年、逝去年月を明記のうえ、ファックスか郵送、又はe-mailにてご連絡下さい。また、住所等の異動がございましたら、氏名、卒年を明記いただき、変更内容をつアックスか郵送、又はe-mailにてご連絡下さい。皆様からお寄せいただいた個人情報は、同窓会活動のみ

に使用させていただきます。同窓会を名乗った営業電話に困惑しているという苦情も寄せられますが、本同窓会とは全く関係ございません。創立百周年を前に名簿部会で取り組んでいます「年度別組織作り」にもご協力いただき、今後の同窓会活動の活性化に何卒ご理解をお願いいたします。

第1次募金報告

平成18年4月以降(敬称略)

上原 武	昭 38
木藤 陽子	昭 36
福岡 咲代	昭 20
百瀬 吉司	旧職
井口たつ子	昭 19 本
三村 章子	昭 16 本
三沢 敏雄	旧職
寄付金故塩原経子様	昭 13 本
昭和40年卒	同期会
昭和54年卒	3年8組
昭和52年卒	同期会
堀内 はな	大 9

後記

☆事務局に「異動通知連絡カード」と共に一通のお手紙が東京より届きました。「この度同窓会会員名簿を故人より拝借しました。十月に一〇五歳になる母の名前を確認し、拡大コピーして母に見せましたところ、くい入る様に何回も見直し、又友人の名前を見つけた大変嬉しそうに喜んでいました。普段の記憶も定かなくなってきました今、遠い昔が蘇り青春を思い出しているかのようでした。誠に有難うございました。」という内容でした。

☆会員名簿が悪用され、個人情報の管理が厳しくなった昨今、同窓会活動を活性化させるのに難しい時代です。そんな中会員名簿がこんな形で活かされて嬉しく思います。

☆スローガン「百年の足跡、無限の未来へ」(基本コピーは今春の卒業生の作)には、百歳の美須々に感謝し、未来の美須々を語る百周年にしようという想いがこめられています。

☆県内には高校改革プランによりこの四月から統合改編され、学校名が変わった高校が数校あります。

☆美須々らしい世紀のイベントを是非成功させ、平成二十一年十月十日には多くの会員と在校生の笑顔を見たいと思います。(事務局K)

来年度、定期総会当番幹事学年は昭和46年・昭和56年卒業学年となります。ご協力をお願いいたします。